

山科保護司会らが自主研修 和のマナーを学ぶ

山科区更生
保護協会
山科地区更生
保護女性会
山科区保護司会

山科区保護司会（澤井悦子会長）らは8日、第2回自主研修会を開催した。会場場所は山科区柳辻のシードビル。55人の保護司らが参加した。

今回の自主研修は山科区更生保護協会・山科地区更生保護女性会との合同開催。元山科警察署長で今は伝統和

文化マナーマイスター協会京都支部長で上級講師の正徳孝夫氏を迎え「マナーの素晴らしき力」と題し講演が行われた。



澤井会長

参りたいと思います」と意気込みを語った。大川原康夫会長（更生保護協会）は、「日本も近年の国際社会の中では、政治経済を含めより複雑化してきております。住みよい社会づくりのためにも、お互いに色々なことを学習しつつ組織としての連携も深めていきたい



大川原会長

いと切望しております」とし挨拶とした。なお、司会進行を務めた保護司会研修部の岡島脩雄部会長は京都市保護司会連絡協議会顧問で、総合建物解体業柳上村組の取締役も務めている。

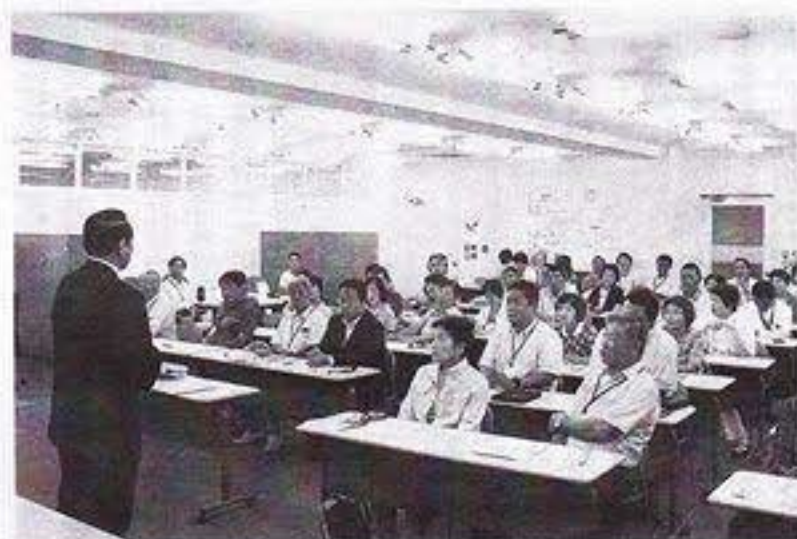


岡島部会長

だけではなく、良い方向へ活発化もさせ、ひいては犯罪の抑止、再犯の防止にもつなげられることを、基本の言葉づかいや挨拶の所作なども交え、和やかな雰囲気の中で参加者らに大切さを訴えかけた。



講師の正徳氏



講演を聞く参加者